

JIS A 1231上向流カラム通水試験および 溶出・吸着試験の規格化に関する勉強会

JIS A 1231地盤材料の溶出特性を求めるための上向流カラム通水試験方法が2023年3月に新たな溶出試験方法として日本規格協会より公開されました。この規格は、2014年以来、日本が主導してISO化を進め2019年に公開されたISO 21268-3 Up-flow percolation testをベースに、翻訳JISとして地盤工学会および産業技術総合研究所が原案作成者として規格化に取り組んできたものです。

そこで、このたび、ドイツ連邦材料試験研究所 (Bundesanstalt für Materialforschung und -prüfung, BAM) のUte Kalbe博士をお招きし、JIS A 1231および溶出・吸着試験等に関する勉強会を開催することといたしました。Kalbe氏は、ISO/TC 190 Soil qualityや、CEN/TC 444 Environmental characterizationで、溶出試験の標準化に尽力されている方です。ISO 21268-3カラム通水試験の規格化においても、多大なサポートをいただきました。

勉強会では、JIS A1231の概要を説明した後、Kalbe氏から溶出試験の規格化やPFAS等の新規規制物質への対応についてご講演をいただきます。さらに、2023年10月に日本からISO/TC 190へ提案した、溶出や吸着に関するパラメーターを取得するための試験方法やそのガイダンスの規格化について紹介したいと思います。

また、当日午前中、産総研 地圏資源環境研究部門の実験室見学も予定しております。皆様の参加をお待ちしています。

2024

日時

3.25

月

14:00 - 17:00

無料

対面+オンライン

産総研 地質標本館および実験室見学：同日 10:30～13:00

同時通訳あり

場所

産業技術総合研究所 つくば中央 第7群 別棟2階 大会議室

主催

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門

共催

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域

後援

一般社団法人土壌環境センター、公益社団法人地盤工学会ISO/TC 190国内委員会、同・新展開委員会※1

※1 正式名称：地球環境問題の解決に向けた環境地盤工学分野の新たな展開に関する研究委員会

Microsoft teamsを通すため、産総研に来られる方は携帯電話もしくはPCとイヤホンをご準備ください。

講師

Ute Kalbe
ドイツ連邦
材料試験研究所



講師

肴倉 宏史
国立環境研究所
資源循環領域 室長



講師

保高 徹生
産業技術総合研究所
研究グループ長
北海道大学工学部
客員教授



10:30～13:00

産総研
実験室見学

勉強会・見学どちらか
だけの参加も可能です。

14:00～17:00

勉強会

「地下に生息する微生物を汚水処理やメタネーションに活用する研究施設見学」

担当：地圏微生物研究グループ 片山泰樹

「固体試料の局所元素分析ならびに定量的評価のための最先端機器類の見学」

担当：鉱物資源研究グループ 昆慶明・荒岡大輔

「地層処分研究と水文環境図の作成に係る分析機器見学」

担当：地下水研究グループ 松本親樹

「上向流カラム通水試験および吸着層工法に使用する材料等の試験方法の設備見学」

担当：地圏環境評価研究グループ 保高徹生・西方美羽

14:00～14:25 JIS A 1231 上向流カラム通水試験について (産総研 保高) (日本語)

14:25～15:30 Kalbe氏の講演 (ドイツBAM Ute Kalbe氏) (英語/同時通訳あり)

15:40～16:30 溶出/吸着試験のガイダンスについて (国環研 肴倉) (日本語)

16:30～17:00 質疑応答・議論

終了後、つくば駅近くで懇親会を開催します (18:00-20:00)

申込方法

勉強会・実験室見学への参加をご希望される方は、下記のURLかQRコードでMicrosoft Formsでご登録をよろしくお願いたします。どちらかみの参加も受け付けております。

<https://forms.office.com/r/Jq40XtXuBe>

JIS A 1231 上向流カラム通水試験および溶出・吸着試験の規格化に関する勉強会



地図

産業技術総合研究所
つくば中央 第7群
別棟2階 大会議室

